

D-5 俳句・歴史探訪

入賞

芭蕉をしのぶ うつくしまの旅

歴史探訪に興味のある人にお勧めの旅です。

提案者 国見町 大内隆子

日帰りプラン

白河の関(白河市)

須賀川(須賀川市)
(世の人の見付ぬ花や軒の栗)

安達ヶ原黒塚(二本松市)
(鬼婆が住んでいた岩屋)

文知摺観音(福島市)

鎌田(月の輪の渡し)(福島市)

飯坂(大鳥城、
医王寺、鯖湖湯)(福島市)

桑折駅(桑折町)

芭蕉翁記念碑(国見町)

白河の関

「心許なき日かず重るまゝに、白川の関にかかりて旅心定めぬ」芭蕉が江戸を離れて、みちのく路の第一歩を踏み出した地として記されている。
白河観光協会 TEL:0248-33-1147

須賀川(須賀川市)

白河の関越えを果たした芭蕉は矢吹の宿を経て、俳友相楽等躬宅に8日間にわたって滞在した。

安達ヶ原黒塚

鬼婆を埋めたという塚、潜んでいたという岩屋などがある。

月の輪の渡し

阿武隈川の渡し場だった。

大鳥城

平安末期に信夫庄司・佐藤氏の居城で、1185年に源頼朝に滅ぼされた。出丸跡、館跡、空濠跡等が残り、館の山公園として親しまれている。
飯坂温泉観光協会 TEL:024-542-4241

医王寺

源平合戦で活躍した佐藤継信、忠信公ら佐藤一族の菩提寺。元禄2年5月に松尾芭蕉もここに立ち寄り、源義経ゆかりの弁慶の笈などを見て、義経を助けた佐藤兄弟を偲んで涙し「笈も太刀も 五月にかざれ 紙幟」の句を詠んでいる。
TEL:024-542-3797

文知摺観音

「早苗とる手もとや昔しのぶ摺り」源融と虎女の悲しい恋の伝説が残る地。境内の「傳光閣」には芭蕉の掛け軸などを展示。多宝塔、芭蕉像、正岡子規の句碑が立つ。

桑折町

桑折は奥州街道の宿場町であった。

芭蕉翁記念碑

奥州街道の跡もわずかに残り、昔の面影を残している長坂の茶屋跡に建つ記念碑。後ろの松林の中には「知道軒戸賀崎翁碑」と「筆塚碑」がある。
国見町教育委員会 TEL:024-585-2676



鯖湖湯

奥州三名湯と数えられる飯坂温泉。鯖湖湯は芭蕉が浸かった湯と伝えられる名湯。明治を偲ぶ伝統ある共同浴場。

飯坂温泉観光協会 TEL:024-542-4241

